

[特集]

災害から命を守るために、
正しい情報で避難行動をしましょう!



大規模な土砂災害を想定した合同訓練
【5月22日、天竜川上流総合水防演習】

飯田市消防団の「機動救助隊」は、初めて長野
県警察や飯田広域消防の救助隊に加わって、
救助救出訓練に参加しました。

4ページにも当日の様子を掲載しています。

災害から命を守るために、正しい情報で避難行動をしましょう!

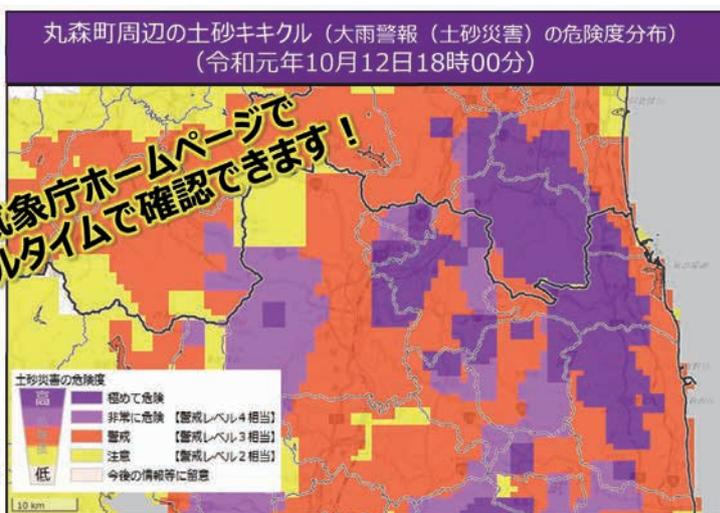
これから雨の多くなる時期を迎えます。雨によって刻々と変化する状況の中で正しい情報を得ることが大切です。

今回の特集では、土砂災害、洪水や浸水に関する情報をどのように入手するか紹介します。正しい情報を入手して、その後の避難行動に活かしてください。

また、安全な場所、危険な場所、避難先についても、平常時から家族やご近所の方と事前に相談しておきましょう。



ひとつ先の行動を考える ～キキクルの活用～



〈キキクル サンプル画像〉

引用元：気象庁リーフレット「土砂キキクルの活用～土砂災害から命を守るために～」



リンク先：気象庁ホームページ

「飯田市の防災情報 キキクル(危険度分布)」

気象庁が「キキクル(危険度分布)」で刻々と変化する状況をお知らせしています。キキクルには、雨による災害の危険度(2～3時間先の予測雨量を活用)を5段階に色分けして地図上に表示されます。情報は10分ごとに更新されているので、最新の情報をチェックし、少し先の行動を考えたり、家族と相談したりしてみてください。

気象庁ホームページで公開しているほか、テレビの情報コーナー、各社が提供しているスマートフォンアプリのお知らせにも使われている情報です。

避難情報の種類を知る ～「避難指示」で全員避難！～

災害が発生する危険性の度合いにより、市は「避難情報」を発令します。避難情報を確認したら、リスクがあるところにいる方は適切な行動をとりましょう。

警戒レベルによって身に迫る危険性が違いますので、平常時の内からレベルに応じた適切な避難方法を確認しておくことが大切です。

「風水害」に関する避難情報です。



警戒レベル	避難情報の種類	発令・発表されたら
5	緊急安全確保	建物の最上階に避難(垂直避難)するなど、屋外に出ず、命を守るための最善の行動をとってください。
警戒レベル4までに必ず避難しましょう！		
4	避難指示	全員が、危険な場所から避難しましょう
3	高齢者等避難(※)	避難に時間のかかる高齢の方や障がいのある方は、危険な場所から避難しましょう
2	大雨・洪水・高潮警報	今後の気象情報に注意しましょう。
1	早期注意情報	

※「高齢者等避難」は、高齢者以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、避難準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難をしていただくタイミングです。

危険な場所にいないときは、必ずしも避難所に行く必要はありません！

周りの状況を見て、そのときにいる建物が避難所より明らかに安全だったり、大雨で外を移動することが危険だったりする場合は、その場にとどまりましょう。

また、避難所より過ごしやすい親戚や友人の家など、避難所以外の避難先を確認しておくことも大切です。



正しい情報を入手しましょう！

22・23ページに「災害情報ガイド」を掲載しています。

本号を読み終えたら抜き取って、普段目の行き届くところに保管しましょう。

冷蔵庫に磁石で貼っておくのがオススメです。



問い合わせ／危機管理課 防災係 内線2437

天竜川上流総合水防演習 水防体制の強化を図る



喬木村と飯田市の消防団と一緒に演習

天竜川上流域で大規模な水害や土砂災害が発生したことを想定して5月22日、川路多目的広場を主会場に開催されました。実践的な演習に広域消防、警察や消防団などの水防関係機関のほか、地元の企業や住民の皆さん、950人ほどが参加し、各機関の連携を確認しました。

「防ぎたい、救いたい」と思う多くの参加者が集い、会場の一体感が感じられた合同演習でした。



土のう作りに挑戦する「かわらんべ講座」の子どもたち

信州大学新学部誘致推進協議会 新学部をこの地域に



飯田市役所前に横7メートル、縦1メートルほどの横断幕

飯田下伊那では、信州大学新学部の誘致に賛同する企業、団体、個人、自治体が誘致推進協議会を立ち上げ、誘致活動を進めています。6月15日現在、1,800以上の会員が参加しています。

三六災害60年シンポジウム 日々、災害を意識して



経験をもとに意見を交わしたパネルディスカッション

1961年(昭和36年)の豪雨災害「三六災害」から60年が過ぎ、被災時の経験や教訓を語り継ぐシンポジウムが6月12日、飯田文化会館で開催され、日ごろから災害に備える大切さを確認しました。

原田泰治さんを追悼 心のふるさと伊賀良で



作品のエピソードを紹介

3月2日に81歳で世界した画家の原田泰治さんをしのいで、「原田泰治さん心のふるさと展」が伊賀良公民館で行われました。伊賀良まちづくり協議会の皆さんによってこの追悼展が開かれ、初日となった6月12日、伊賀良小学校の同級生や親交のあった皆さんでご遺族を囲み、思い出話に花を咲かせました。また、追悼展の開会セレモニーでは、原田泰治さんの市政功労者表彰をご遺族に伝達しました。



ご遺族に原田さんの同級生も交えて

ツアー・オブ・ジャパン 信州飯田ステージで開幕



大人と一緒に声援を送る園児たち



令和元年以来3年ぶりに白熱したレースを間近で観戦
今回から「信州飯田ステージ」に名称を替え、飯田では15回目の開催となりました。下久堅地区の山岳コースに16チーム、約80名の選手が挑み、オーストラリアのネイサン・アール選手(チーム右京)が信州飯田ステージを制しました。